



開成物成務

令和3年 6月23日(水)発行

校長 渡辺 理恵

学校公開(授業参観)・引き渡し訓練

ありがとうございました!!

4月の授業参観に続き、学校公開(授業参観)と引き渡し訓練を実施させていただきました。感染症対策をしたうえでの短い時間での実施なので、十分な参観もできなかったと思いますが、ご協力をいただきありがとうございました。

4月の頃から見ると、授業に積極的に参加したり、落ち着いて取り組めたりできているのではないかと思います。子どもたちや先生によって学級の雰囲気は様々ですが、開成小学校として目指す子ども像「考える子」「いきいき活動する子」「成長する子」「いのちを大切にする子」は同じです。また、「みんなで創る、みんなが分かる授業を目指して」取り組んでいます。

引き渡し訓練は昨年度はできず、有事の際慌てないよう今年度は何とか実施したいと考えていました。南海トラフ地震臨時情報がいつ発表されてもおかしくありません。日頃からご家庭でも避難場所や連絡方法等について話し合っておいてください。実際の時に混乱しないよう、学校でも実際に臨時情報が発表されたことを想定して、訓練を進めています。

密にならないよう、グループ別や地区別に参観や引き取りをお願いしたり、お弁当の準備をしていただいたり、PTA本部役員さんや常置委員長さんには検温や手指消毒の受付の手伝いをしていただいたりして、たくさんのご協力をいただきました。

ありがとうございました。



参観の案内にも、車をとめないよう記載したのですが、近隣の商店の駐車場に、車をとめていた方がたくさんいたようです。絶対にやめてください。

児童会活動～委員会活動

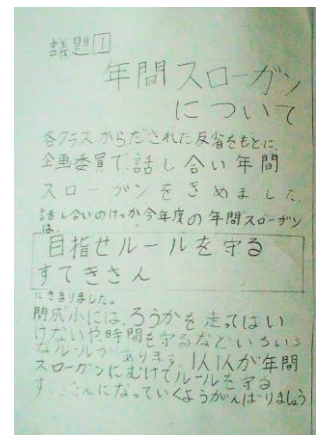
「委員会活動」は、「関わり合い、高め合う集団づくり」を目指して活動しています。具体的には、全児童がより良い学校生活の実現に向けて、主体的に活動できるように進めていますが、運営に関しては、主に5・6年生が協力して、学校の上級生として、自発的、自治的に取り組んでいます。

現在、「企画・掲示・図書・保健・音楽・放送・体育・美化・園芸飼育」の9委員会があります。

企画委員会では、月に1回程度、3年生以上のクラス代表児童を集めて、「代表委員会」を開き、話し合いをしています。学校をより良くするために企画委員会が原案を考え、各クラスにおろし、話し合ってもらいます。議案は「年間スローガンについて」「前期重点目標について」「1年生おめでとうプロジェクトについて」です。企画委員会が輪番で司会進行をし、自治的に話し合いを進めています。

話し合いの結果、年間スローガンは「目指せルールを守るすてきさん」に、前期重点目標は「明るいあいさつと言葉づかいの達人になろう!」に決まりました。各クラスの代表児童も、ただ参加しているだけではなく、クラスで話し合ったことを発表したり、時には質問や意見も出したりしています。どの子どもクラスの代表として立派に役割を果たしていました。

他の委員会も、それぞれ目標を決め、分担を決めて、より良い学校を目指し主体的に取り組んでいます。



3年生 総合「あじさいまつり」

3年生は、生活科から社会科・理科となり、身近な地域や自然、町へ視野が広がり、さらに総合的な学習の時間が加わることで、自ら課題を見つけ、いろいろな見方・考え方を働かせて、それを追究していきます。社会科で「開成町の様子」を学習しながら、総合的な学習の時間で「あじさいまつり」について調べていくことになりました。

コロナ禍の影響で「あじさいまつり」は残念ながら中止になってしまいましたが、町役場の産業振興課の担当の方をお招きして、「あじさいまつり」について、話していただきました。



現在、まつりはできなくても、あじさいの庭には色とりどりのあじさいが咲き乱れ、道行く人々の目を楽しませてくれています。

自ら課題意識を持って、探究的な学習を進めてほしいと思います。

美化作業～学校をきれいに!!

6月に入り、校地内もかなり枝や草が伸びてきています。日頃、用務員さん等も時間を見つけて環境整備をしてくださるのですが、なかなか追いつきません。少しでもきれいにしようということで、密にならないように日を分けて学年ごとに美化作業を行いました。



外へ出て、みんなで作業をして汗を流し、きれいになったという達成感を持たせることはとても重要なことです。子どもたちが「自分たちの手で、自分たちの学校をきれいにしよう」とする姿勢を大切にしたいと思います。

5年生 理科「魚のたんじょう」

昨年度に引き続き、本校の第30代校長でもある富川孝治先生を講師にお招きし、5年生が理科「魚のたんじょう」の学習を行いました。

メダカのオス・メスの見分け方を学習したり、5日目のメダカの卵を実際に大きく映してもらい、その特徴を見つけたりしました。黒い目があることや心臓が動いていることが分かり、丁寧に観察しているときに、卵の中で大きく動いたときには「おー。」と歓声が上がりました。また、今朝生まれたばかりの卵を一人1つずついただき、解剖顕微鏡を使って熱心に観察しました。卵の周りに毛が生えていて、卵の中に泡のようなものがあることを発見した子は、「なんかコロナウィルスみたい」と今どきの発言。顕微鏡を使って未知のものを発見したことに、ワクワクしている様子でした。また、膜が2重になっていて、メチレンブルーの液体が卵の一番内側に入らないことから受精卵ということがわかり、いのちの誕生を理解することができました。



質問もたくさん出て、この後、卵がどのように変化していくのか、そして孵化していくのか楽しみであり、子どもたちが楽しく学習を進めていく様子が想像できました。これをきっかけに、理科の楽しさを味わえる子が少しでも増えてくれるとうれしいです。

すてきさん発見

6年生の教室の隣の集会室で、昼休みに6年生が4人集まって床で何かしています。何事だろうとのぞくと、なんと、床の掃除をしてくれているのです。プラスチックタイルの床は、長年の汚れが付着して真っ黒になっていました。そこを小さなスポンジでこすって、少しずつきれいにしてきていたのです。「さすが6年生だね、ありがとう。」と声をかけると、「毎週金曜日の昼休みにやることにしたから。」の返答。「昼休みにやってくれるの?」「うん、そう決めたから。」遊びたい気持ちもあるでしょうに、学校を引っ張ってくれる最上級生の「すてきさん」を発見しました。